

いもち病に感染しやすい日が5月下旬に増加しています

福島県農業総合センター 生産環境部 作物保護科

1 部門名

水稻－水稻－病害虫発生

2 担当者名

前原瞳

3 要旨

近年、5月の気温が上昇傾向にあり、5月中のいもち病に感染しやすい日（感染好適条件）が増える可能性が考えられた。そこで、過去30年間の気象データを用いて福島県内の感染好適条件の出現回数を調査した。その結果、直近10年間はその前20年間と比べて、5月下旬の感染好適条件の出現回数が増加していた。

- (1) 5月下旬の感染好適条件出現回数及び地点数は、1995～2014年の20年間で3地点・4回であったが、2015～2024年の10年間では10地点・11回であった（表1）。
- (2) 5月中にいもち病に感染する可能性があることから、伝染源となりやすい補植苗を早めに撤去する必要がある。

表1 過去30年間の気象データを用いた5月中のイネいもち病感染好適条件出現回数

地方	感染好適条件 出現地点	感染好適条件出現回数（回）					
		1995～2014年			2015～2024年		
		5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月上旬	5月中旬	5月下旬
中通り	福島	0	0	0	0	1	1
	郡山	0	0	0	0	0	1
	船引	0	0	0	0	0	1
	石川	0	0	0	0	0	1
	白河	0	0	0	0	0	1
	東白川	0	0	0	0	0	1
会津	若松	0	0	1	0	0	2
	喜多方	0	0	2	0	0	1
	西会津	0	0	1	0	0	0
浜通り	浪江	0	0	0	0	0	1
	山田	0	0	0	0	0	1
11地点*のべ出現回数		0	0	4	0	1	11

※ 福島県内アメダス観測地点29地点のうち5月中に出現した地点数

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 総合的病害虫管理（IPM）による環境と共生する農業技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 越水幸男,アメダス資料による葉いもち発生予察法,東北農試研報,78号,p.67-121,1988.